



火災予防を呼びかけ市内をパレードするポンプ車

春の火災予防運動初日の四月七日、消防本部、消防署、消防団では約三〇台のポンプ車と七五人の署員や団員が出動し、全市内をパレードして市民に火災予防を

呼びかけました。このほか、消防本部と消防署では期間中、通行者に対し火災予防をデザインした花の種を配る街頭広報や高層建築物での火災を想定した避難、救助、消火活動訓練、ひとり暮らし老人宅訪問などを行い、市民の防火意識の高揚を図りました。しかし、期間中は初日にあいにく錦町で三棟を全半焼する火災が発生し、火災予防意識の大切さを改めて

火災予防を呼びかけ



森田市長(後列右から5番目)に全国大会出場を伝えるために市役所を訪れたチームの皆さん

去る四月二十四・二十五の両日、東京都駒沢オリンピック公園で開かれた「第一回全国選抜グレートボールド大会」に、本市から男女各一チームが出場しました。出場したのは、市老人クラブ連合会(葛西専造会長)ゲートボール部会、男子は伊藤徳一監督ほか七人、女子は神いつ監督ほか六人の合わせて一五人です。伊藤さん達は去る一月十日、弘前市で開かれた県予選大会で「二六・五歳以上の部」の県代表として選ばれたものです。市老連の葛西会長と伊藤さん達は四月十一日に市役所を訪れ、森田市長に全国

全国大会に2チーム出場

市老連ゲートボール部会

大会出場を伝えました。森田市長は「県・市の代表としてご健闘を期待いたします」と激励すると、伊藤さん達は「力いっぱい頑張つてきます」と応えていました。また、葛西会長も「願ってもできない栄誉です。五所川原のイメージを高めるためにも頑張つて欲しい」と語っていました。



認識づける結果となりました。

お知らせ

見やすい広報をと活字を大きくしました。これまでの活字と比較して、高さは同じため型式はさして変わりますが、字幅が〇・五ミリ大きくなっています。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和61年

No.614

5-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限りない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。後できっとお役に立ちます。

効率的な行財政を

めざして

『市行政改革大綱』を策定

市では三月二十九日、「五所川原市行政改革大綱」を策定しました。

本市では、これまでも積極的に行政改革に取り組み、特に昭和五十九年には、組織を近代化して行政のスピード化を図るために「部制」を施行したほか、「冬時間」を他市に先駆けて廃止し市民の要望に応えるなど、その成果をあげてきました。

しかし、社会経済情勢が一段と厳しい状況の中で、市民の行政に対する期待、要望は年々高まりつつある一方で、財政事情は緊迫度を増してきています。

このたび策定の大綱は、このような情勢に対応しながら、活力ある地域社会づくりと市民の福祉向上を図るために、経常経費の削減、既存の組織や制度、施策等を見直し、簡素にして効率的な行財政運営をめざすものです。

基本方針

①五所川原市の行財政をとりまく環境はまことに厳しいものがあるなかで、これを克服して高令化社会・高度情報化への移行、価値観の多様化等、社会情勢の激しい変化に対応して活力ある地域社会を形成し、福祉

向上を図るため、組織・機構・制度・施策等を見直し、簡素にして効率的な行財政運営を旨とする。

特に新規事業の導入にあたっては、スクラップアンドビルド(注参照)を旨と

大綱の策定にあたって市では昨年五月、庁内に森田市長を本部長とする「市行政改革推進本部」を設置。また、これに市民の意向を十分反映させるために、去る一月には民間有識者等十五人の委員を委嘱し「市行政改革懇談会」(村上純一会長)を設置し、意見を求めました。これに対し、同懇談会では四回にわたって審議を重ね、去る三月五日、「市行政改革大綱」に関する提言」を答申。市では、この答申を尊重して大綱を策定しました。

この大綱には、当面実施する行政改善事項を明らかにしていますが、行革は市民のご理解とご協力を得てこそ成し遂げることが出来ます。実施にあたってのご協力をお願いします。大綱の全文をお知らせします。

し、機構の肥大化、財政の硬直化を招くことのないよう配慮して、財源の重点的かつ効率的配分を行うことが肝要である。

②行政改革の推進にあたっては、五所川原市行政改革懇談会の提言の趣旨を尊重し、市政に関する情報・意見の公開、交換をもとに議

会や市民の理解と協力を得ながら労使一体となり全庁的に取り組むこととする。

施設の設置及び管理運営の合理化の六項目とする。
④職員は、全体の奉仕者であることを自覚し、行政改革推進の担い手である責務を認識して一人ひとりが業務の遂行にあたっては、最少の経費で最大の効果をあげるよう創意工夫を凝らし、行政改革の推進に努める。

当面の措置事項

事務事業の見直し

- ①支所で行っている戸籍、住民登録、印鑑登録等の事務について、ファクシミリ(注参照)等の代替措置により地区住民の利便を確保しつつ一元化を検討する。
- ②市税、分担金、使用料等の収納率向上と収納事務の簡素化のため、口座振替制度の導入を検討する。
- ③使用料及び手数料については、受益者負担の原則を貫き適時見直しを行う。
- ④市有財産の管理を厳正に行い、遊休地や貸付している土地を極力処分するよう努める。
- ⑤歳出については、引き続き経常経費の節減合理化に努めるとともに、政策的経

組織・機構の簡素合理化

行政組織は時代に即応し、効率的なものでなければならぬ。
①本市では昭和五十九年四

月、部制を施行し、大幅な権限委譲と課系の統廃合を実施して人員減をもたらし、今後も引き続き適時見直しや点検を行い、肥大化防止と簡素化に努める。

②交通・情報網の整備により、その必要性が薄れてきている支所の統廃合を検討する。

給与の適正化

①給与制度の運用にあたっては、住民感情を考慮するとともに職員志気高揚を図りつつ厳正に運用する。

②時代の変化によって実情に合わなくなり、市民の理解を得にくい特殊勤務手当について見直しを行う。

なお、水道使用料外勤手当、水道量水器検針手当、公営住宅使用料外勤手当及び現場作業手当は昭和六十



森田市長(正面左)に「市行政改革大綱に関する提言」を答申する村上純一会長(同右)……3月5日

年度限りで廃止する。

③管内旅費の日当について

定員管理の適正化

本市では、これまで民間委託を中心に事務事業の見直しや、OA化(注参照)等事務改革によって増員抑制に努めてきたところである。

今後、民間委託については、昭和六十年度から新たに市庁舎の電話交換業務、駐車場管理業務を委託する等広範にわたって推進してきたところであるが、今後も民間活力の導入を図り、行政責任を確保しつつ質的低下を招くことのないよう配慮して引き続き推進する。

②一般廃棄物収集業務及び除排雪業務については、今後更にその区域及び業務分野の拡大を図る。

③市営牧場の管理については、利用者団体へ委託して経費の節減と畜産農家の生産意欲の向上を図ることを検討する。

④広域新農業センターについては、農業者の日頃の

も見直しする。

民間委託、OA化等事務の推進

①民間委託については、昭和六十年度から新たに市庁舎の電話交換業務、駐車場管理業務を委託する等広範にわたって推進してきたところであるが、今後も民間活力の導入を図り、行政責任を確保しつつ質的低下を招くことのないよう配慮して引き続き推進する。

②一般廃棄物収集業務及び除排雪業務については、今後更にその区域及び業務分野の拡大を図る。

③市営牧場の管理については、利用者団体へ委託して経費の節減と畜産農家の生産意欲の向上を図ることを検討する。

④広域新農業センターについては、農業者の日頃の

各種扶助費のOA機器による処理を検討する。

⑨土木建築の設計積算業務のOA化を検討する。

⑩ワードプロセッサ活用により、文書業務の定型化の促進を図る。

会館等公共施設の設置及び管理運営の合理化について

①公共施設の設置にあたっては、既存施設の有効利用を図りつつ長期展望にたつて将来の財政負担をも考慮して計画する。

②公共施設の管理運営については、既に一部のコミュニティセンターにおいて、地域住民の自主的管理によって利用者本位の運営及び経費の節減等で成果をあげており、今後も地域住民の理解と協力を得て計画的に進める。

③コミュニティセンターの夜間警備については、機械警備に逐次切り替える。

④福祉施設や体育施設は多様化するニーズに応えるため、ボランティア開発等で柔軟な対応が可能な公共団体への委託を検討する。

⑤公共施設の電力契約量の見直しを行い、電気料の節減を図る。昭和六十一年度に市役所、中央公民館等七施設を受電設備変更工事を施工する。

⑥「老人福祉センター」や「しきしまコミュニティセンター」の完成により、その存在理由が薄れたと思われる「老人福祉会館」の今後のあり方を検討する。

⑦住民基本台帳、選挙人名簿、国民健康保険及び国民年金被保険者台帳を電算化により一体的処理を図る。

⑧生活保護費、児童手当等、

スクラップアンドビルド
老朽施設を廃棄し、能率的な施設を積極的に造っていくこと。

⑦住民基本台帳、選挙人名簿、国民健康保険及び国民年金被保険者台帳を電算化により一体的処理を図る。

⑧生活保護費、児童手当等、

⑦住民基本台帳、選挙人名簿、国民健康保険及び国民年金被保険者台帳を電算化により一体的処理を図る。

⑧生活保護費、児童手当等、

⑦住民基本台帳、選挙人名簿、国民健康保険及び国民年金被保険者台帳を電算化により一体的処理を図る。

⑧生活保護費、児童手当等、

OA化

オフイス・オートメーション化の略。経営管理のための情報処理をオートメーション化すること。

フアクシミリ

模写伝送のこと。

補助金のメニュー化

いくつかの補助対象事業

献血に二〇〇人余が協力

―七和地区―

新しい献血制度がスタートして間もない四月八日、七和地区で本市としては本年度初の移動採血が行われ、二〇三人がこれに協力しました。

これは、五所川原市赤字奉仕団七和分団(堀内キミ子分団長)が昨年に引き続き奉仕活動の一環として行ったもので、同地区住民も積極的に協力。



献血者の対応をする赤十字七和分団の人達

血そば」を出すなど心のこもった対応をしていました。同分団では、昨年青森少年院の慰問も行い、団員手づくりの膝かけ五〇枚を寄贈。今年も市内の老人ホームの慰問や中郡岩木町の障害児福祉施設への奉仕などを予

移動採血は、採血車二台によって前田野目分館、高野文化センター、七和農協前、コミュニティハウス原子、俵元農産物加工研修センターの五か所で行われました。七和農協前での採血には、七和農協職員や近くの七和電子の従業員も協力。同分団では、献血者に対する車での送迎のほか、献血を済ませた人達には「献血

定しており、活発な活動を続けています。堀内分団長と日赤県支部奉仕団の川浪豊登指導講師は、「私達がこうして活動できるのも地域の協力があるからで、大変ありがたく思っています」と語っていました。

本市の献血実績は、昨年度は目標の七九割と例年に比べて向上したものの、依然として県内の低位にあることから、このたびの七和地区の大口の協力は、本年度の好調なスタートと言えます。



新しい献血制度がスタート

血液の安定確保をめざし、四月一日から献血制度が変わりました。

あなたが選
択 三つの
献血方法

昭和六十年の献血者は全国で約八百七十万人。全人口の約七・二割の献血率は、世界でもトップレベルを誇ります。しかし、一回当たりの献血量「二百ミリリットル」は、世界でも最少量のレベルです。そのため多くの善意にもかかわらず、医療用の血液は不十分なが現状です。

このため、今回の改正では従来の「二百ミリリットル献血」に加え、新たに「四百ミリリットル献血」と血液の特定成分だけを採血する「成分献血」が導入されました。その結果、四月一日からはこれら三つの中から、ど

れかを選んで献血できるようになりました。

400
ミリリットル
献血 安全
性は実証済み

血液の安定確保と、輸血による肝炎などの感染やそのほかの副作用を減らすために生まれたのが、四百ミリリットル献血です。四百ミリリットル献血は、日本人と同じぐらいの体格をした東南アジア諸国の人達のほか、世界各国でかなり前から行われており、医学的にもその安全性は十分に確認されています。

成分献血
必要な成分を
採血する

成分献血とは、血液中の血漿あるいは血小板だけを採血する方法です。なぜ、このような採血方法が必要なのかというと、血漿成分からつくる血漿分画製剤が現在の医療になくてはならないものだからです。

成分採血は世界各国、そして国内の大学病院・総合病院でもすでに行われていて、安全性は十分に確認されています。

健康な時に
献血を!!

今回の四百ミリリットル献血と成分献血の導入は、医療に必要な血液製剤すべてを献血から確保する努力の第一歩なのです。

健康な時に献血し、必要な時に血液製剤を使った医療を受ける―あなたのさしのべた腕が尊い生命を守ります。

新しくなった献血制度にぜひご協力ください。

愛鳥週間

5月10日～16日



理想高く84人入学

青森職訓短大

今春初の卒業生が誕生した青森職業訓練短期大学校(辻茂校長)で四月十日、六十一年度生の入学式が行

われしました。式には学生と父母、来賓、学校関係者など合わせて約三〇〇人が出席。



入学式で祝辞を述べる 森田市長

まず辻校長が、機械システム系四〇人、電子科二六人、建築設備科一八人の合わせて八四人(うち女子四人)の入学を認定した後、「輝やかしい今日の感激を忘れることなく勉学に励み、知・徳・体のバランスのとれたエンジニアとなつてください」と式辞を述べました。

田市長が「貴大学校は、勉学に、そして人格錬磨に理想的な環境にあります。学校長はじめ諸先生のご指導のもとに理想を高く掲げ、たくましく前進してください。また、わが国産業の発展はもとより、当地域の振興発展にもご支援をお願いします」と祝辞を述べました。

同大学校は、技術と技能を兼ね備えた実践技術者の養成校。特に本市は、青森テクノポリスの中心となるばかりでなく、着工四年目を迎えた七里長浜港の後背地として、さらに本市が造成した漆川工業団地に東北でも有数の先端技術産業が立地したことなどから、同大学校には地域振興の中核として大きな期待を寄せています。



白衣の天使へ36人が第一歩

市立高等看護学院



入学式であいさつを述べる 森田市長

市立高等看護学院(学院長・副島清治 西北中央病院院長)の六十一年度入学式が四月十二日、同学院で関係者約一〇〇人が出席して行われ、看護婦(士)をめざして三六人(うち男子一人)がその第一歩を踏み出しました。式では、副島学院

長が「今日の医学の進歩に対応できる看護婦となるために、本日の意義ある日を忘れることなく勉学に励んでください」と式辞。引き続き、森田市長が「皆さんが自ら選んだこの道の使命の大きさ、責任の重さを自覚し、勉学にまた人間形成に努力して、思いやりのあるたくましい人間に成長してください」とあいさ

つを述べました。その後、来賓を代表して県環境保健部長代理の桜庭広次五所川原保健所長と川浪直治市議会議長が、また上級生を代表して三年の川口典子さんが、それぞれ祝辞を述べました。

最後に、入学生を代表して棟方直人さんが「より多くの知識と技術を身につけるために、学生としての自覚と責任をもって精進します」と誓いのことを述べました。



期間 5月20日(火)まで

春の防犯運動実施中

暴力団の被害にかかったら
すぐ110番へ電話しましょう!!

五所川原市 五所川原地区防犯協会 五所川原警察署





昨年の自然観察会のコマ

▽申し込み 五月十二日までに市教育委員会社会教育課(☎35)二二二番 内線二五〇番へ
 △その他
 ①市民文化会館前から、午前九時(中央小学校前は

自然観察会

野鳥の村オープン

梅沢支所移転のおしらせ
 梅沢コミュニティセンター増築工事の完成に伴い、五月一日から梅沢支所を同センターに移転します。
 所在地 梅田字燕口一八の三(梅沢コミュニティセンター内)☎28)二二二番

▽期日 五月十八日(日)
 △会場 飯詰味噌ケ沢「野鳥の村(家)」
 △講師 日本野鳥の会会員、津軽植物の会会員
 △参加費 無料(ただし、バス利用者はバス代として五〇〇円)
 ②直接会場へ集合される方は、午前九時三十分までに集合してください。
 ③昼食、筆記用具、手帳(野帳)、帽子、長靴(コースに水たまりがある)をご持参ください。
 ④雨天の場合は「野鳥の家」で実施します。
 ⑤観察は、野鳥と野草に別れて同時に行いますから、どちらか一方に参加することになります。
 ⑥お申し込みの際「バス利用の有無」と「観察種目」をお知らせください。
 ※「野鳥の家」は、九月三十日まで開放しますので、学校、団体、家族等で自然観察、レクリエーションの場にご利用ください。

主催 市教育委員会

みんなの教室—受講生募集—
中央公民館

- ▷申し込み受付期間 5月1日~15日
 - ▷申し込み方法 ハガキに希望教室名、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入のうえ、お申し込みください。(希望教室は一人で2教室まで申し込みできます。)
 - ▷受講料 無料(ただし実費は必要です。)
- お申し込みやお問い合わせは、市中央公民館(市内鎌谷町117-7 ☎35)6056番)へどうぞ。

教室の紹介 (各教室とも定員20人)

教室名	曜日	時間	講師名
茶道	水	午前10:00~12:00	浜田 宗近先生
生花	木	10:00~12:00	遠州流波谷とく先生
生花	水	10:00~12:00	小原流 鶴田和子先生
料理	火	10:00~12:00	山本 淳先生
洋裁	土	10:00~12:00	野呂三枝子先生
着付	金	10:00~12:00	鶴谷谷美子先生
ちぎり絵	木	10:00~12:00	神 貴美子先生
日本舞踊	金	10:00~12:00	藤間 綾先生
コーヒ	月	9:30~11:30	小栗山隆志先生
書道	水	10:00~12:00	時田 智子先生
スポーツ	火	10:00~12:00	藤田 妙子先生
ダンス	木	10:00~12:00	田沢 俊一先生

計量器(はかり)の定期検査

商店、農業経営者などで計量器を使用している方は、年1回の定期検査を必ず受けてください。
 ▷注意すること
 ① 検査当日は、通知書(はがき)、印鑑、検査料をご持参ください。
 ② 検査を受けないはかりは、使用することができません。
 ③ 通知書記載の期日に検査を受けられない方は他の場所でも受けられます。
 ④ 期間中に検査を受けないと県計量検定所(青森市)で受検しなければなりません。

期日	時間	場所
5月26日(月)	午前10時30分~正午	毘沙門長 富 コミュニティセンター
	午後1時~3時	コミュニティセンター 飯詰
5月27日(火)	午前10時~午後3時	市農協 三好支所
	午前10時~11時30分	コミュニティセンター 中川
5月28日(水)	午後1時~3時	津軽中央農協吹畑支所
	午前10時~11時30分	市農協 栄支所
5月29日(木)	午後1時~2時	市役所 梅沢支所
	午前10時~11時30分	コミュニティセンター 長橋
5月30日(金)	午後1時~2時	コミュニティセンター 七和
	午前10時~午後3時30分	中央集会所 (上平井町旧郵便局跡)
6月9日(月)	午前10時~午後3時30分	中央集会所 (上平井町旧郵便局跡)
6月10日(火)	午前10時~午後3時30分	中央集会所 (上平井町旧郵便局跡)
6月11日(水)	午前10時~午後3時30分	市民文化会館
6月12日(木)	午前10時~午後3時	市民文化会館

青年教室—学級生募集—

- ▷対象者 市内に居住する青年男女
 - ▷募集人員 30人
 - ▷開催場所 市中央公民館
 - ▷参加料 無料(バス代、材料費等は個人負担)
 - ▷申し込み期間 5月1日~15日
 - ▷開講式 5月28日 午後7時
 - ▷内容(予定) 郷土の歴史、野外活動、税金の性格とはたらき、五所川原市の展望について、レクリエーションなど…7回
- 詳しいことやお申し込みは、市教育委員会社会教育課(☎35)2111番 内線250番)へどうぞ。

昭和大61年度農業日雇賃金標準額表

市農業委員会

田畑別	作業別	61年度標準額	
		男	女
水田	植	1日当り賄なし	4,200円
	刈	1日当り賄なし	4,200円
	調整	1日当り賄なし	4,200円
畑	りんご剪定(特技者を除く)	1日当り賄なし	5,300円
	りんご授粉	1日当り賄なし	4,000円
畑	りんご摘果	1日当り賄なし	4,000円
	りんご袋掛	1日当り	4,200円
	りんご収穫	1日当り賄なし	3,800円
	薬剤散布作業	1日当り賄なし	3,800円
一般農作業		1日当り賄なし	3,800円

2. 耕耘機等賃借料

機械別	作業別	61年度標準額
耕耘機	田打砕き	10a当り 4,900円
	畑打砕き	10a当り 4,900円
	田荒しろかき	10a当り(2回) 3,900円
	田植しろかき	10a当り(2回) 3,900円
	耕起よりしろかき	10a当り 13,000円
バインダー	糸持10a当り	8,800円
ハーベスター	人付10a当り	5,800円
コンバイン	人付10a当り	16,000円
		17,000円(結束刈り)
		10,000円(麦)
田植機	人付10a当り	4,900円
オペレーター賃金	1日当り	6,500円

*1日の労働時間を8時間とし、賄なしを基準とします。

児童手当改正のおしらせ

六月一日から二人目の子どもにも児童手当が支給されます。今回の主な改正点は、義務教育就学前の児童を含む二人以上の児童を養育している人にも手当が支給される点です。

▽受給資格者

昭和五十九年六月二日以後に生まれた児童(六月一日現在で満二歳未満)を含む十八歳未満の児童を二人以上養育していること。又は義務教育終了前の児童を

含む十八歳未満の児童を三人以上養育していること。現在申請書を受付中です。申請書を提出されないと受給することができません。実際の支払いは十月からになります。

なお公務員については、事業所からの支払いになりますので届出は不要です。

▽申請の際に必要なもの

- 1) 保険証
- 2) 銀行の口座番号
- 3) 印鑑

(4) 児童手当所得証明書(税務課から)。ただし本年一月一日以降に転入の方は前住所から。詳しいことは、市福祉事務所児童係(☎35)二二二番内線二四三番)へどうぞ。



歴史の道めぐり

参加者を募集

県歴史の道整備促進協議会では、歴史の道(銅の道)めぐりを行います。みなさんの参加をお待ちしています。

▽日時 五月十八日(日) 午前七時～午後六時

▽コース 五所川原～鶴田～板柳～碓ヶ関～錦木塚～マインランド尾去沢・史料館～大湯ストーンサークル～十和田湖～黒石～板柳～鶴田～五所川原

▽集合時間・場所 午前六時五十分 中三デパート前(市内本町)

▽会費 一人四千七百円(昼食、見学料含む)

▽申し込み先 青森市大字松森字佃 青森県歴史の道整備促進協議会事務局(☎〇一七七四二一〇六四番)

▽申し込み締切 五月十五日

▽申し込み受付時間 午前八時三十分～午後四時(日曜日を除く)

▽その他 ●会費は、当日ご持参ください。●参加者が三十八名以下の場合中止となります。●申し込み後、連絡なく当日参加しなかった場合は会費を全額いただきます。

柔道教室

参加者募集

▽期間 現在から来年三月末まで。(毎週月・水・金曜日)

▽時間 午後五時三十分から七時まで。

▽場所 三道会館

▽対象者 小学生(男女) 詳しくは、市内川端町新山電機内 池田さんへどうぞ。(☎34)六二二三番 自宅は35四六三番)



工業統計調査用

ホスター募集

▽応募資格 特になし

▽応募期間 五月十日～六月三十日(当日消印有効)

ポスターの規格など、詳しいことは県企画部統計課(☎〇一七七四二一〇六四番内線二二八一番)へどうぞ。



第3回定期演奏会

—五所川原吹奏楽団—

西北五唯一の社会人吹奏楽団です!! 多数のおいでを!!

▽日時 5月3日(土)

午後5時開場

▽場所 市民文化会館

▽入場料 一人300円



妊婦さん大集合!

マミー教室開催のお知らせ

赤ちゃんのために、2日間で妊娠中の食事、離乳食のすすめ方について学びます。



お気軽においでください。

- ▷日時 1日目 5月9日(金) 午前9時30分～午後1時
2日目 5月16日(金)
- ▷場所 市保健センター
- ▷受講料 無料
- ▷対象 妊婦さん20人(中毒症のない方に限る)
- ▷申し込み期間 5月1日～6日
- ▷申し込み先 市衛生課予防衛生係 (☎352111 番内線 268番)

小・中学生の保護者の皆さんへ ツ反・BCG予防接種の実施について

市では、本年も小学1年と中学1年の児童生徒を対象に「ツベルクリン反応検査・BCG」を行っています。また、小学2年と中学2年の児童生徒で、前年にBCG接種をした人は本年もツ反検査・BCGを行います。接種実施期日は4月15日～5月17日です(予定)。



「愛の献血」をお願いします

日	午 前	午 後
2日(金)	10時～正午	1時30分～4時
	木村石油 広田給油所前 (広田)	マルトモデパート 駐車場 (大町)
12日(月)	10時～11時	正午～4時
	コミュニティ 防災センター前 (鎌谷町)	日立東部セミコン ダクタ津軽工場前 (漆川)
30日(金)	10時～正午	1時30分～4時
	五所川原保健所前 (末広町)	白生会胃腸病院前 (上平井町)

休日・夜間の急病は

在宅医師の紹介は消防署へ

☎35-2019番

(救急医療部会)

みんなの健康教室へどうぞ!

- ▷日時 5月23日(金) 午後1時
- ▷場所 市保健センター
- ▷テーマ 「喘息について」
- ▷講師 対馬昭幸先生
(対馬内科小児科医院長)
- 主催 北五医師会・市民保健協議会

61年度歯の健康診断室

- ▷日時 6月1日(日) 午前10時～午後3時
- ▷場所 中三デパート5階催事場
- ▷内容 歯の無料健康診査、歯の磨き方指導、凶画ポスターの展示、歯科関連物の展示
- 主催 県歯科医師会北五支部会、衛生士サークル

お詫び

去る四月中旬に配布の「みんなの健康教室」のチラシ記事の中で、一月二十三日の講師名が「松坂忠」とあるのは「松坂正」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

(市民保健協議会)



たばこは、市内から買いました



マイルドセブン一箱(二二〇円)につき、四一円 四〇銭がたばこ消費税として市の収入になります。

川

柳

川柳岩木吟社提供

栄転は大きな判を強く捺し
古里を持たぬ子がいる人事異動
死ぬときは一人身軽な旅想う
再職へ捨てた仮面を補修する
土の香も一緒に届く母の文
命張る教師を囲むつづらな瞳

長一郎
粹 閃
一 淡
英 平
子 子
よしゆき